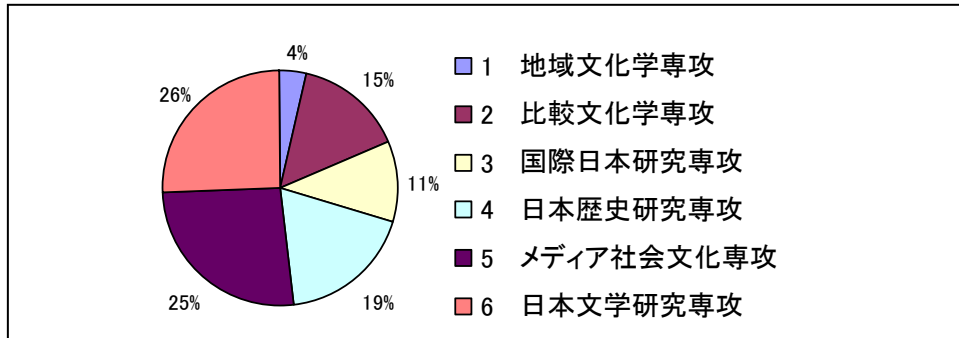


2008年度文科・学術フォーラムのアンケート集計結果

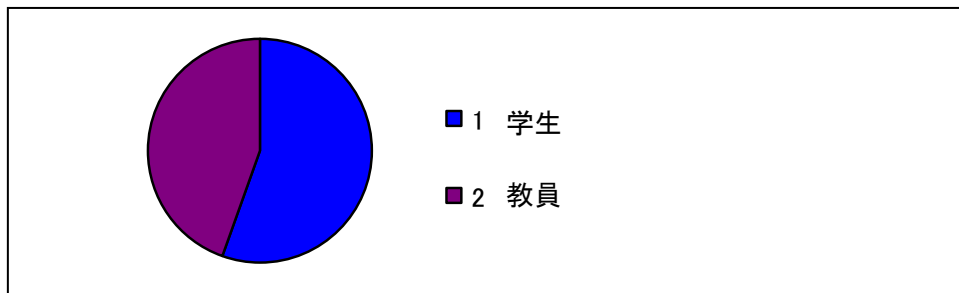
2009. 02.26

作成者：林 海福

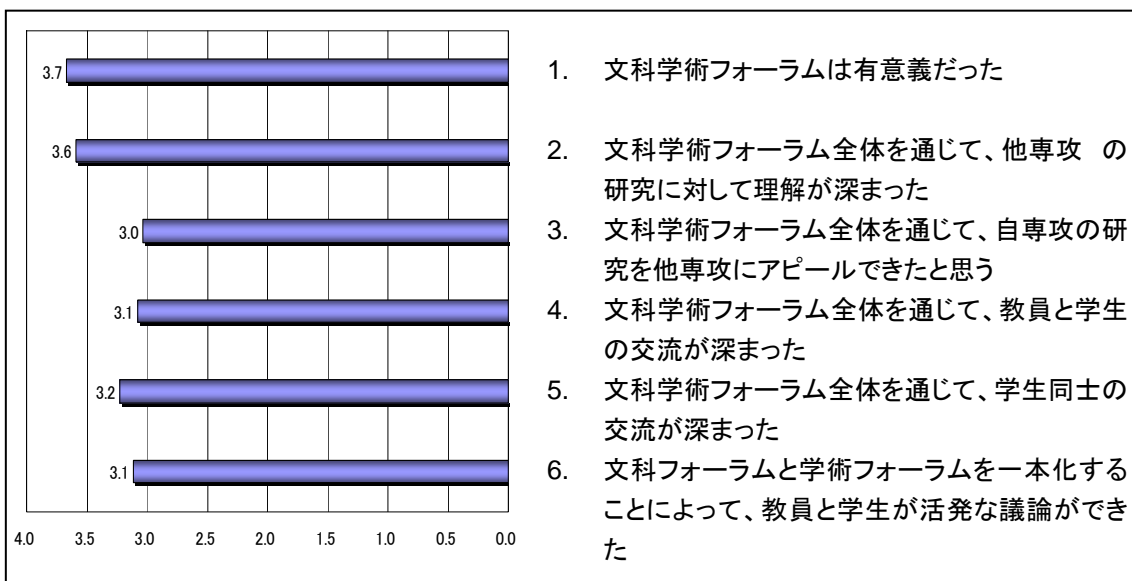
□ 参加者の所属先



□ 学生と教員

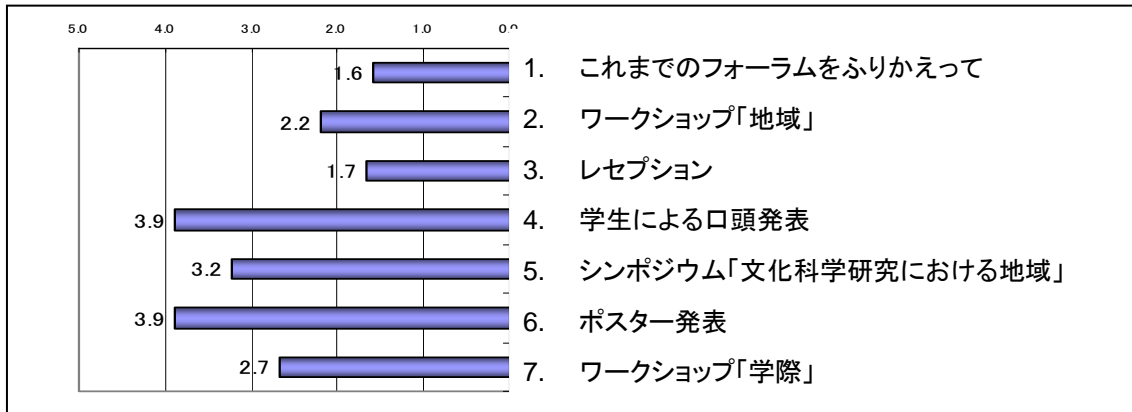


□ 文科・学術フォーラム全体について、あなたのご意見をお聞かせください

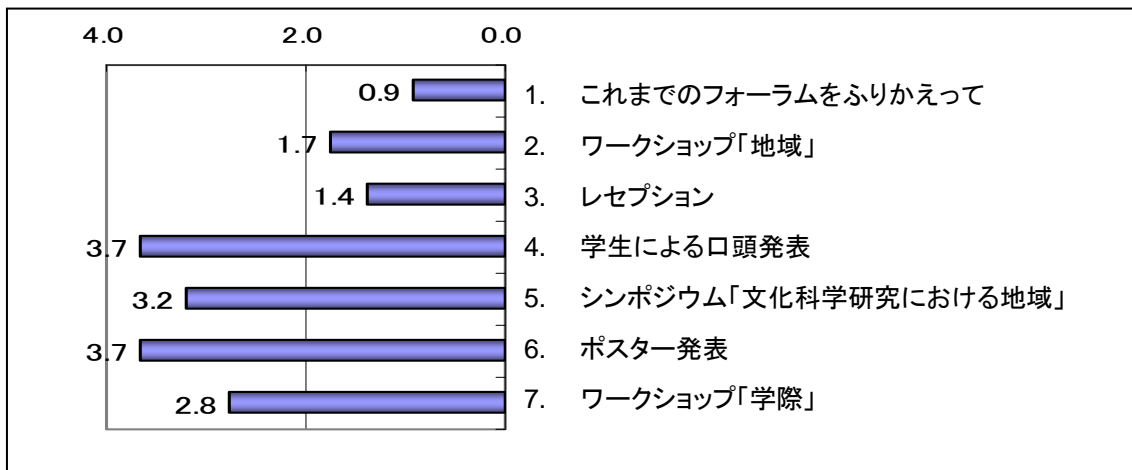


- 文科学術フォーラムの各イベントについて、ご意見をお聞かせください
 (注：(※1位:7点、2位:6点、3位:5点、4位:4点、5位:3点、6位:2点、7位:1点とする))

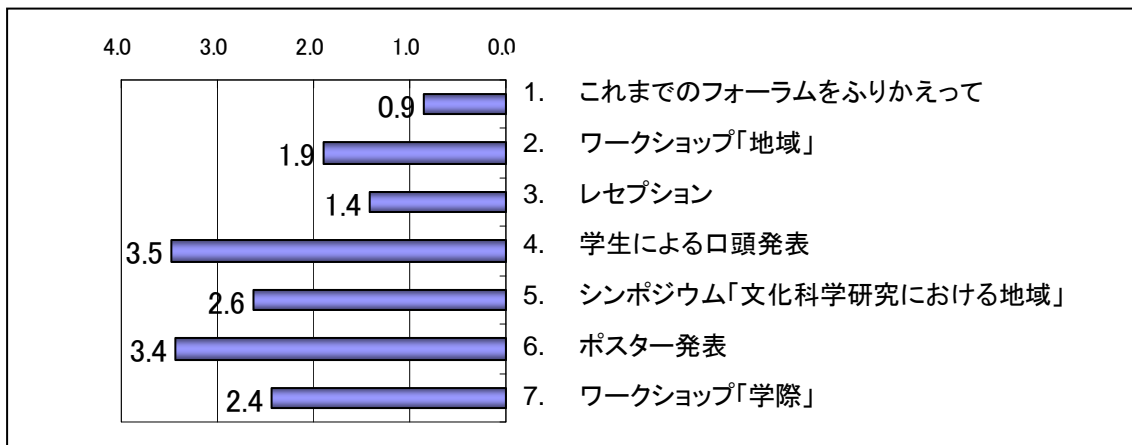
問 1. 文科学術フォーラムのイベントは有意義だった。



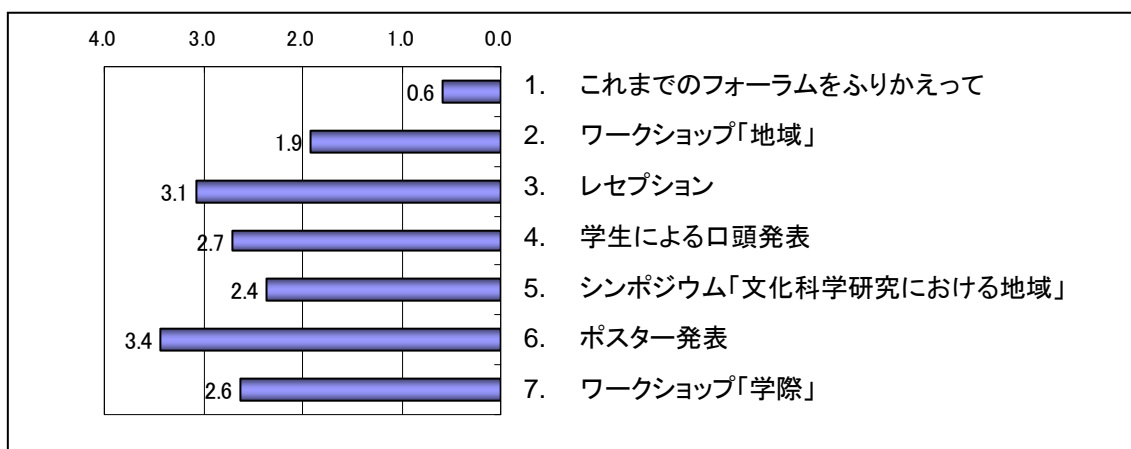
問 2. 文科学術フォーラムのイベントは、他専攻の理解に役に立った。



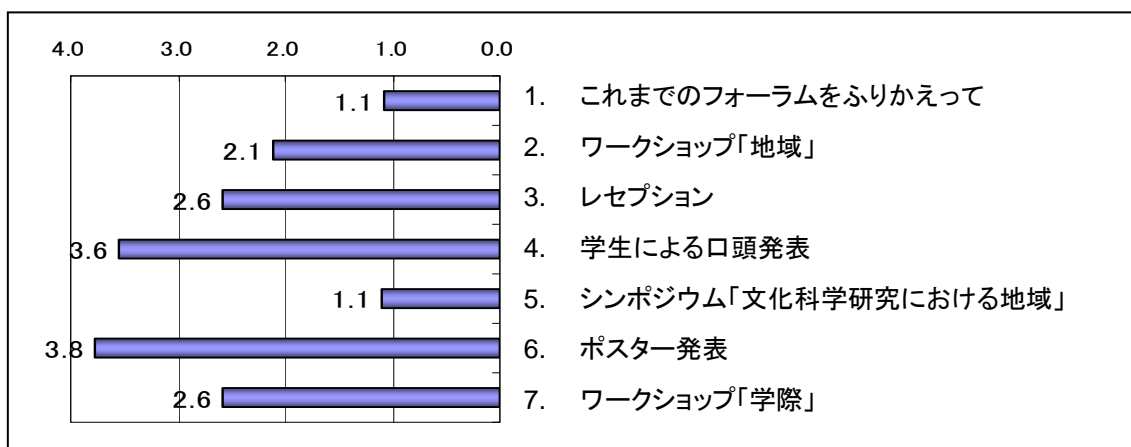
問 3. 文科学術フォーラムのイベントは、自専攻の紹介に役に立った。



問 4. 文科学術フォーラムのイベントは、教員と学生の交流に役に立った。



問 5. 文科学術フォーラムのイベントは、学生同士の交流に役に立った。



□ 自由記述

問 1. 1 日目の内容についてご感想を自由にお書きください。

良かったこと：

- 和やかな雰囲気に参加者間のコミュニケーションをはかることができた。
- 「これまでのフォーラムをふりかえって」がことのほかおもしろかった。
- (3日間を通して) 疲れましたが、大変良かったと思います。ご苦労様でした。
- これまでのフォーラムを振り返れたことが良かったです。
- 文科・学術フォーラムと一本化したことはとても良かったと思います。
- 回想ビデオ。
- (レセプションからの参加だったので) 食事の量が十分だった。
- (1～3日) 同じ文化研究科でも、各々の専攻によって、ずい分研究スタンスが

異なっていることがよく解った。

- 見なかった前のフォーラムの内容をわかったこと。
- ワークショップで他専攻の学生・教員とコミュニケーションが取れた。
- レセプションの充実。

これから改善してほしいこと：

- レセプションは交流に大切なことなので、一部の先生に芸をやってもらう程度では安易ではないでしょうか？学生にも何かやってください。
- 芸を増やす。
- 飲み物の種類とそれぞれの量の見直しが必要かも、ビールを少し減らして、ソフトドリンク系はもう少し増やす。
- レセプションが人が少ないのに時間が長い。
- ワークショップで話し合う要点がなかなかまとめられなかったので、参加者に具体的な指示、話し合い後の到達目標を与えて欲しいと思いました。

問2. 2日目の内容についてご感想を自由にお書きください。

良かったこと：

- 学生の発表、シンポジウム共に充実していた。シンポは長かったが、様々な知見が示され、最後に今後の問題提起というかたちで自然にまとまったのが良かった。
- 先生の発表が面白かった。学生のも良かった。
- シンポジウムは有意義でした。
- 学生による口頭発表が充実していた。
- 他専攻の研究を聞くことができてとても勉強になった。
- 教員が発表するシンポジウムで学生がコメントしたこと。
- 教員が発表するシンポジウムで学生がコメントしたこと。
- 各専攻の教員の発表によって「地域」という概念が多角的な視点で理解することができた。
- 学生の発表と教員の発表を同時に行ったこと。
- 自分の研究を他専攻の人たちにどのように示せばよいのかを学ぶことができた。
- 多方面の研究の話を知ることができた竹沢先生のお話が地域そのものの概念に迫り刺激的でした。学生こめてーターの質問システムもとても優れているアイデアだと思います。
- 学生の口頭発表はそれぞれにまとまっており（・・・）概ねよかった。

これから改善してほしいこと：

- 時間配分の問題。9:30～18:30 というのは、やはり疲れる。適切な短縮が可能か要検討。
- 発表時間守って！
- 2日目の夜ごはんも、交流の場を作って欲しい。
- 発表時間が短い。
- 音響機器の調子が悪かった。事前に十分チェックして欲しい。
- カテゴリー分けしていない口頭発表。
- 先生方によるシンポジウムに、少し多くの時間を費やしすぎではないでしょうか。
- 全日座学はつらいので→ポスターと座学を組み合わせる。
- 発表本数を1つ減らしてもいいかも、時間が長くなってしまうので。
- 特にないが、午後のシンポジウムが延びていたため、タイムキーパーを司会ではない、別に用意したほうがいいかもしれません。
- スライドの画面が右寄りになっていたため、資料の一部が出席者に見えない状態だったが、誰も直そうとしなかったため、事前準備をしっかりとって欲しい。
- 学生と教員の発表を混ぜて、一日のシンポジウムにした方が、午前午後しか参加できない者にはよいかもしれない。

問3. 3日目の内容についてご感想を自由にお書きください。

良かったこと：

- ポスター発表を踏まえたワークショップは、プレゼンテーションの訓練としても効果が大きかった。
- 教員と院生のポスターが両方出ていてよかった。
- ポスターは楽しかった。
- ポスター作成のスキルが学べた。
- 他専攻の研究が良くわかった。
- ポスター発表が楽しい（ワークショップ学際も）。
- よいポスターやプレゼンがわかったこと。
- ポスターセッションで多くの人と知り合えた。
- プレゼンがユニークだった。

これから改善してほしいこと：

- 参加者の数をもう少し拡大したい（聴衆の学生含む）。
- アナウンスの徹底。
- 参加者数を増やしましょう。

- ポスター発表の Q&A を活発に。
- ポスターの表彰の方法、評価基準（評価ポイント）の明確化。
- ワークショップに統一性をもたせること。
- ワークショップの意味があまりよく分からなかった。
- ワークショップ「学際」で、最後のプレゼンは、各班の議論をプレゼンするではなく、各学生の研究内容をプレゼンするべき。「5分」で打ち切るべき。
- ポスターなし、PC にメディアを変えるのは最初に告知するべき。
- WS 終了後、自由に意見を話す時間を・・・欲しかった。
- コンペの結果を公表するべき（点数など）←これがないので、ナニが？

その他：全体について

- (1～3日) 理系の研究科に参加してもらいたい、あるいは、文理の壁を越えたフォーラムを開いて欲しい（既に開催されているなら、私の思い間違いです）。今年の入学式で（その後のフォーラム）ヒューマ・ノイドの話聞いたとき、とてもわくわくしました。
- 科学を俯瞰的に語れる時間を持ちたい。
- 3日間の連続の日程が大変。
- できれば日程をもっと前から決めて欲しい。
- 全体的にとっても練られた内容で、準備されたスタッフの方々に心よりお礼を申し上げます。ただ、全体に学生の参加が少ないことは残念でした。この点、関東勢がそれなりに大阪まで来ていたにもかかわらず、大阪にある民博の院生（この点、パンフレットでは民博の先生だけポスター発表もないようです）が少なかったことは担当企画委員の宣伝に今後生かしてもらえればと思います。歴博ではメールだけでなく紙媒体でもご案内いただけたのは、今後も続けて欲しいと思います。参加者に関しては従来通り 1 年生は全員三回というルールが今回は周知されていたのでしょうか？この点はレセプションで先生ともお話しところ、単位化の方向で検討できるかもしれないということでした。あとこれは議論も多いと思いますが、レセプションではどうしてもお互い広い空間で積極的に他専攻の人に話しづらい人もいます。1日目の夜は、レセプション後に9人で飲みに行きました。H18の文科フォーラムのときのようにレセプション後に希望者で大勢で飲み会までセッティングしたほうが、交流の濃い有意義なものになると思っています。いずれにせよ2日間の参加でしたが、内容はとても面白く有意義なイベントを実行していただき、重ねて感謝を申し上げます。ありがとうございました。